

ディボーション

御名をたたえる唇

絶えず賛美の犠牲を捧げましょう



日 358/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

ヘブル書の「～しようではありませんか」の１２個目です。「それなら、私たちはイエスを通して、賛美のいけにえ、御名をたたえる唇の果実を、絶えず神にささげようではありませんか」（ヘブル１３：１５）。これは、とても美しくふさわしい勧めだと思います。継続して行うように指示しているからです。私たちが一年中、神への賛美のいけにえをささげ続けるなら、私たち一人ひとりの人生に大きな違いをもたらすでしょう。この最後のステップである神への賛美は、前の二つのステップである「感謝しようではありませんか」と、「宿営の外に出てみもとに行こうではありませんか」と直結しています。感謝は、当然のように賛美につながります。聖書には、感謝と賛美が結びついている箇所が多くあります。特に美しい聖句の一つは、詩篇１００篇４節の

> 「感謝しつつ主の門に　賛美しつつその大庭に入れ」

です。神に近づく第一段階は感謝で、第二段階は賛美です。感謝すると賛美になるのです。感謝は賛美の中に表現され、賛美の中に流れ出ます。直前の「宿営の外に出てみもとに行こうではありませんか」というステップは、自分を喜ばせることと、世を喜ばせることという二つの奴隷状態から私たちを解放します。このステップも。賛美のいけにえをささげることに直結しています。最初は気づかないかもしれませんが、私たちの自発的な賛美を妨げているのは、自己愛と世への愛の二つです。私たちの愛が自分自身や世に集中している限り、本当に自由に神を賛美することはできません。十字架はこの二つの障害を取り除き、自由に神を賛美することができるようにさせてくれるのです。

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

ディボーション ★
原稿: WD-B097-358-JPN
最終更新日: 04 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク